

玉付き棒針で輪に編むナーシェレのバッグ

ライブではナーシェレを使いますが、どんな太さの糸でも OK です。

見本

使用糸 パピー ナーシェレ (ウール 100%) 50g 26m

使用量 未定

使用棒針 玉付き棒針 7mm (今回はラベルに書いてある針の号数より、細いほうがいいです)
伏せ止め用に 1 号細い棒針 1 本

出来上がりサイズ

23cm×30cm 程度のショルダーバッグ

作り目の目数の決め方

毛糸についているラベルのゲージを見る。

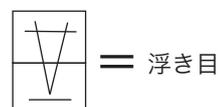
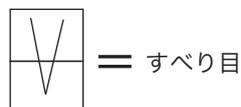
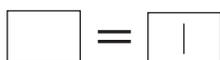
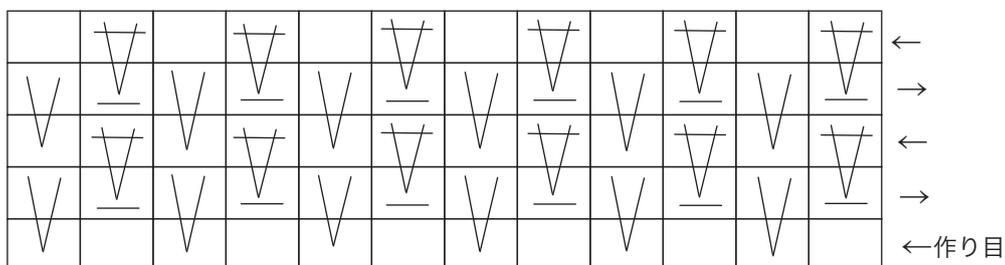
ナーシェレは 7~8 目、9~10 段が 10cm です。

バッグの幅を 23cm くらいにしたいので、8 目 × 2.3 = 18.4 目、輪にするので 2 倍の 36 目が作り目数になる。

編み方

- 1、作り目 (1 段め) は偶数にしてください。棒針 1 本で指で作る作り目をゆめめに 36 目作る。
- 2、以下の通りに編む。
 - 2 段め [浮き目、表目] を繰り返す。
「浮き目」とは、糸を目の手前にして、左針の目に右から右針を入れ、右針に移すことです。
 - 3 段め 編み地を裏返して、[浮き目、表目] を繰り返す。
 - 4 段めから 2 段めを繰り返す、30cm 丈で両面同じ段数になるまで編む。
 伏せ止めは 1 目おきにかぎ針で作業するか、もう 1 本棒針を用意し、1 目おきに移動して伏せ止めをする。
- 3、片側の脇から 4~5cm 幅程度の目数を拾い出し、ショルダー紐をメリヤスで編む。
- 4、希望の長さ (100~110cm くらい?) に編んだらバッグの反対側にメリヤスはぎをする。
- 5、糸始末をする。
- 6、内袋をつけると使いやすいです。
ショルダー紐の裏にも幅広リボンなど縫い付けると伸びなくていいですよ!

この編み図で 3 段編めている状態になります。



すべり目と浮き目は表裏の関係です。